

物部川清流保全推進協議会部会
「こどもたちへの環境学習を進めるWG」要旨(第5回)

- 日 時： 平成24年2月8日 13:30～15:30
- 場 所： 香美市役所3階会議室 (香美市土佐山田町宝町1-2-1)

●内 容：

1. 事務局より、前回(H23.8.18)の議事要旨の説明。
2. 事務局より、WG参加団体から報告のあった環境学習プログラムを報告する。また、プログラム事例集として学校向けに配布することについて協議する。
 - ・ A3両面1枚にまとめたものを事例集として作成、学校現場に配布する。
 - ・ 記載内容の確認、写真データや感想文などの提供をWG参加団体に依頼した。
 - ・ 事例集の作成にあたっては、所要時間や対象学年など、記載項目を統一したほうがいい。
3. 物部川の清流保全に関わる事柄を子どもたちに直接伝える機会を創出するため、それぞれの団体の行うプログラムを組み合わせるなどによる環境学習の企画づくりを、3つのグループに分かれて協議した。
 - (Aグループ)
 - ・ 川に生きる生き物に焦点を当て、その生態と川のなかでの役割を知ってもらうため、水生生物の採集を主とする企画。
 - ・ 学校から現地までの移動手段の確保が課題となる。
 - (Bグループ)
 - ・ 四国森林管理局四万十川森林環境保全ふれあいセンターが四万十エリアの学校を対象に発行した「森林環境プログラム」が、対象学年や現地の地図、学校が用意するものなどについて整理されており、学校現場で使いやすい内容となっている。この物部川バージョンがあればいいのではないか。
 - ・ 植樹をするときは、何年か後に樹の成長を実際に見る仕掛けがあるといい。
 - (Cグループ)
 - ・ 国交省が行う水生生物調査と21世紀の森と水の会が行う川の駅を組み合わせ、川の生き物を見ることを通じて、命のつながりや水のきれいさに目を向けてもらう企画。
 - ・ パックテストや水生生物採集によって物部川の水のきれいさを知ってもらう。
 - ・ 採集した生き物を顕微鏡で見ることにより、心拍や呼吸を目で見て知り、生き物が生きているということを実感してもらう。
 - ・ 水をきれいにするのが川の生き物の命を大切にすることであることを知ってもらう。
 - ・ 国交省が水生生物調査の希望校を募集するときに、川の駅をオプションメニューとして同時に紹介してもらってはどうか。
4. 今後の進め方について協議を行った。
 - ・ 事例集配布と企画実現に向けた学校への周知は各市教委経由で行う。
 - ・ 事務局も必要に応じた説明等を行うこととする。

まとめ

- ◆協議会でプログラム事例集を作成し、流域3市の各小中学校へ配布する。
- ◆WGで協議した企画の実現に向けて、流域3市の教育委員会を通じて学校への情報提供を行う。

以上